創世記18章16節~19章29節

文責：ツ

【前回の復習】

自分のもとにやってきた三人の人を（A）は丁重にもてなした。彼らは（B）に対して「　　　　　　　　　　　　　　　」という内容の予言をする。それを聞いた

（B）は笑ったが、(\*＾▽＾\*)う（B）に対して主はなぜ笑うのか、と言った。

～登場人物～

A：

B：

C（AとBの子）：

ハ○○：

イ○ュ○○ル：

【概要】

ソドムが滅亡する話。ソドムを滅ぼすという主に対してアブラハムは疑問を持ち、全てを滅ぼすことはあんまりなのではないかと言う。しかしソドムは御使いに正しい対応をしてロトの家族を除いて滅ぼされてしまう。

【18章】
**Q：地図から見て、ソドムはどこ？**


**Q：「ソドムの罪は非常に重い、」（18－20）とあるが、どんな罪？**

A：

【19章】

**Q：ロトって誰？どんな人？**
A：

**Q：「酵母の入れないパンを焼いて～もてなした。」（19－3）とあるが、酵母なしなのはなぜ？**

A：

**Q：娘を差し出したロト、非道くないか？**

**A：

Q：「こいつはよそ者のくせに、指図などして。」（19－9）とあるが、ロトってどこから来たんだっけ？**A：

**Q：ロトはなぜためらったのか？（19－16）**
A：

**Q：なぜ振り向いてしまったのだろうか**A：

**Q：「塩の柱」（19－26）ってなに？**

A：

**Q：「神はアブラハムを御心に留め、」ってアブラハムの行いっていうよりもロトの行いが良かったからロトが助かったんじゃないの？**

**Q：このエピソードが訴えていることは？**

**Q：しかし本当にこの様な方法で教訓を忘れた人類を罰することは適切であろうか？他の方法はなかったのだろうか？**

＜参考資料＞



